

河内だより

㊦感謝 ㊦わかる喜び ㊦チームワークを育てよう

電話 651-1982 文責 校長 佐藤 信行

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語，算数，理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の分析の概要

カテゴリ	学力調査の分析（傾向や特徴）
国語A	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的には全国平均正答率を少し上回っていた。また、「読むこと」以外は全国平均正答率を上回っていた。 ・「読むこと」については、多少課題が残る。登場人物の心情や必要な情報を読み取る学習を増やしていく必要がある。
国語B	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的には全国平均正答率を少し下回る。またすべての観点で全国平均正答率を下回る。 ・「読むこと」「書くこと」については、課題があり、朝学習や放課後ステップアップ等での継続した取組が必要である。
算数A	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的には全国平均正答率をかなり上回っていた。また、すべての観点で全国平均正答率を上回っていた。 ・「数量関係」全体ではよいが、円については課題が残る、視覚的に問題をとらえることができるように図や表を適切に使って、理解を深めていく必要がある。
算数B	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的には全国平均正答率をわずかに上回り、「数と計算」「図形」の領域も全国平均をわずかに上回る。 ・「数量関係」「量と測定」の領域に課題があり、算数的活動を重視した学習を進めていく取組が必要である。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的には全国平均正答率をかなり上回っていた。また、「自然事象についての知識・理解」以外の観点で全国平均正答率を上回っていた。 ・「自然事象の知識・理解」については少し課題があり、ICT機器等を活用したり、実験や観察を通して体験的に学習したりし、基礎的事項の内容の理解を深めていく必要がある。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査の結果分析の概要

- ・自己肯定感が高まり、将来の夢や目標をもって生活し、社会への寄与をしたいと展望を持っている。
- ・放課後や休日の過ごし方は家庭で過ごすことが多く、家族とのふれあいはよく行っているが、友達と過ごすことが少ない。
- ・宿題や家庭での学習を計画を立てて行っているが、学習時間は不十分である。
- ・すべての児童が、授業で学級の友達との間で話し合う活動をよく行ったと答えており、話し合うことの大切さを理解できている。しかし、話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりできたという実感は十分ではない。
- ・算数科の学習は好きと答える児童は少ないが、大切であるとすべての児童が答え、学習の意義を理解できている。
- ・理科の学習では、どの設問でも肯定的回答をしている。理科について、すべての児童が好きであり、大切であると答え、学習の意義を感じながら意欲的に学習に取り組んでいる。内容についても理解できていると実感している。
- ・自然の中で遊んだことや観察をしたことがあるとすべての児童が答え、本校の特色を活かした体験活動が児童に実感できている。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・今後、話し合いをすることで自分の考えが深まったり広がったりできるような学習の場や形態を工夫していく。また、振り返りの際に、相手の意見を聞いて分かったこと等を意図的に書かせる活動を計画的に取り入れる。
- ・家庭学習充実のために、宿題や課題の持ち方等を工夫や総合的な学習の時間や行事との関連付けをし、以後の学習に備えることができるようにしていく。
- ・地域や保護者と連携した2学期の様々な行事の中で、一人一人の評価を工夫し、児童の自己有用感を高めていく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・家庭読書を充実するために、学校図書館の蔵書の充実やPTA理事会での資料配布等での啓発を進め、児童が読書をする環境を整えていく。
- ・外部と積極的に関わっていけるように、学校便り、保健便り等での啓発をこれからも継続して行うとともに、PTA理事会での啓発も進めていく。
- ・これまで取り組んできた「携帯電話、スマートフォン夜10時オフ運動」を理事会等の場を活用し、保護者に呼びかけ、推進していく。